

「子どものために みんなでつなぐ 地域とともにある 学校へ」

～ 市内すべての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入～

【問合せ 学校教育課 TEL23-1452】

豊岡市では、2024年度からすべての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入しました。コミュニティ・スクールとは、地域・保護者等の代表者と学校職員からなる「学校運営協議会」を設置している学校のことであり、**学校・家庭・地域が力を合わせて学校づくりを行う仕組み**です。学校運営協議会では、

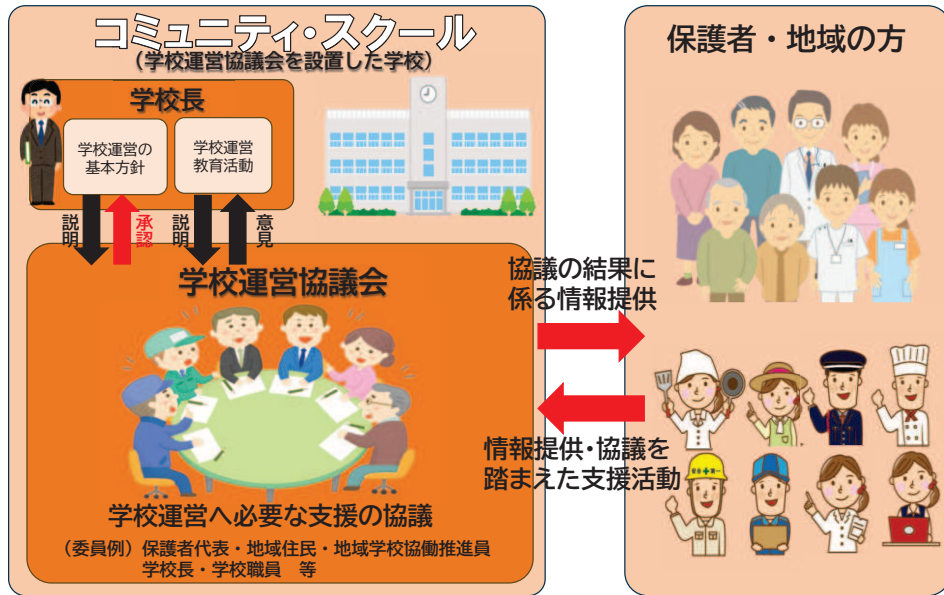
「地域でどのような子どもを育てるのか」 「子どもにどんな力をつけさせたいのか」

など、目標やビジョンを共有し、その達成に向けた手立てを検討していきます。その手立てに合わせて、**保護者、地域の方々などが協力し合い、さまざまな活動**をおこなっていきます。

学校にとっても理解者・協力者が増え、より多くの力で子どもたちを支えていただくことができ、教育の幅を広げ、質を高めることにつながっていきます。

地域ぐるみで子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」のため、みなさんのご理解、ご協力をお願いします。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)のしくみ



【コミュニティ・スクールの魅力】

○子どもたちにとって

- ・学びや体験活動が充実する。
- ・自己肯定感や他者を思いやる心が育まれる。

○地域にとって

- ・経験を活かすことで自己有用感につながる。
- ・地域の活性化や地域課題の解決につながる。

○保護者にとって

- ・地域で子どもたちが育てられている安心感がある。
- ・保護者同士や地域の方々とのつながりができる。

○学校・教職員にとって

- ・地域人材を活用した教育活動が充実する。
- ・地域の協力で子どもと向き合う時間が確保される。

「こんな活動をしています ～モデル校での取組～」

豊岡市のコミュニティ・スクールは2020年度からモデル校として数校導入してきました。モデル校では、学校・地域の課題を協議し、課題解決に向けた取組をしています。学校・家庭・地域が一体となって地域の子どもを育てようとする姿が見受けられます。

なつやすみ学習会の取組（弘道小）

学校支援ボランティアさんが中心となって実施しました。子どもたちは家で一人で勉強するより楽しくできるようですし、ボランティアさんにも楽しんで子どもたちを支援していただいています。



地域ぐるみで菊づくり（中筋小）

学校創立150周年を記念するとともに、さらなる地域活性化をめざして、地域の方と子どもが一緒になって「菊づくり」に取り組んでいます。



小・中合同運動会の実施（港小・港中）

地域ボランティアの方が運営業務に携わったり、地域の方も参加するプログラムを取り入れたりと、地域とともにある合同運動会を実施しました。



【モデル校からの声】

○学校運営協議会委員から

- ・地域に関わりの深い方などと意見を言い合える場ができたので、とても有意義な時間となっています。
- ・子どものためにできそうなことを話し合っている実感があります。
- ・育てたい子どものイメージを共有し、学校の応援団を募集するなど、協議したことが実施できるようになりました。

○学校長から

- ・保護者・地域による学校支援活動が活発になりました。
- ・学校支援ボランティアの募集をかけ、登録数が少しずつ増えています。



▲学校運営協議会（田鶴野小）